

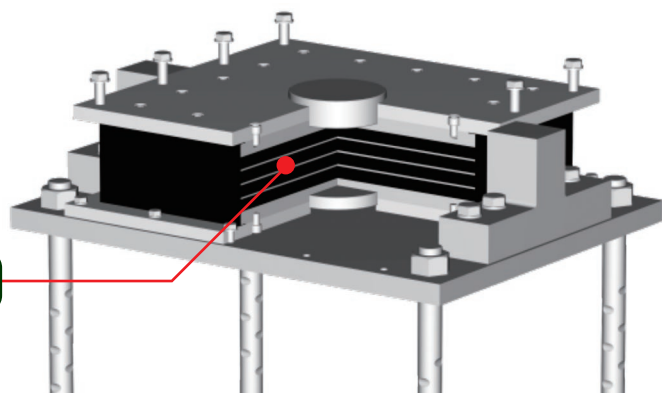
反力測定ゴム支承

【特許第4891891号】

橋梁の支承反力をモニタリングします

- 荷重センサを内蔵したゴム支承により、従来はできなかった支承反力をリアルタイムに測定し、予防保全が実現できます

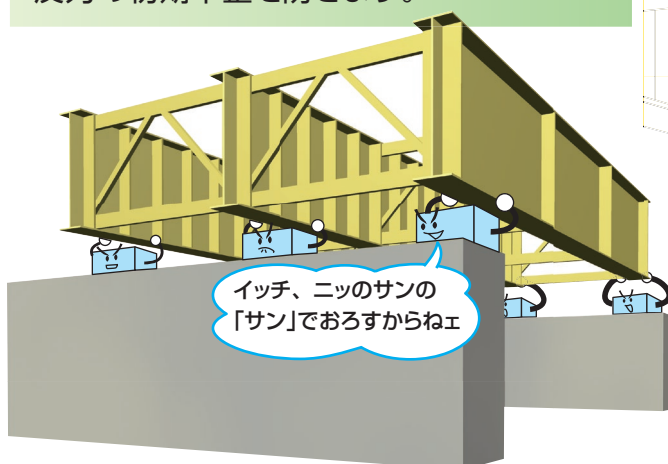
圧力センサ(4個/1支承)



反力測定ゴム支承の特長

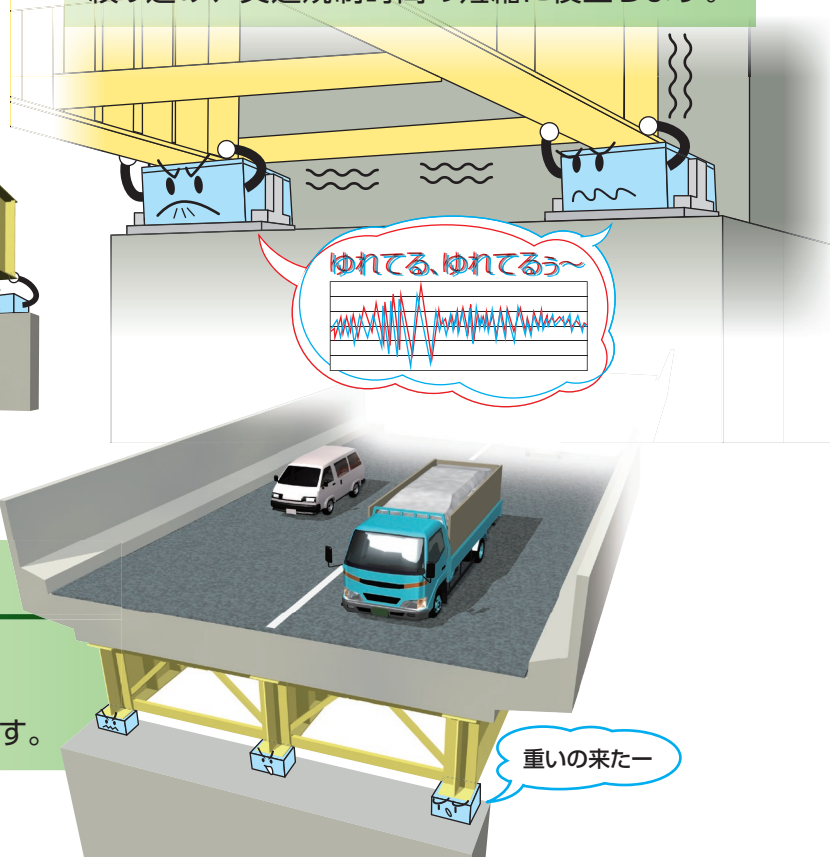
架設時

橋梁架設時に、支承反力の偏りを監視し反力の初期不整を防ぎます。



災害時

地震発生時に短時間で、点検が必要な橋梁を絞り込み、交通規制時間の短縮に役立ちます。



運用時

交通荷重に関する各種の解析を行うことで、支承反力により過積載車の走行台数がわかります。

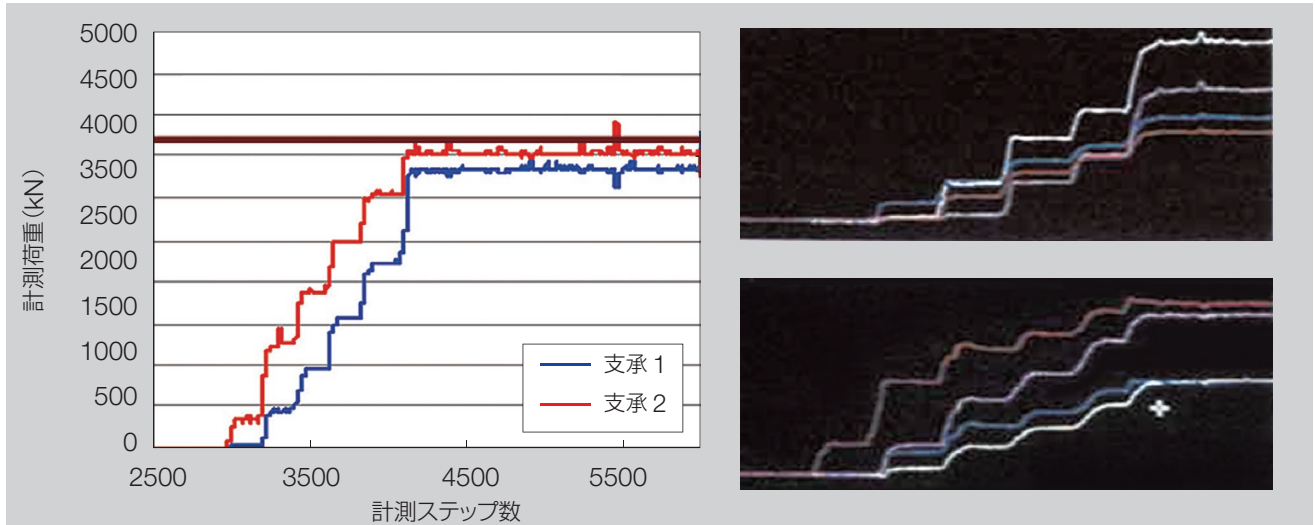


株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング

橋梁架設時の施工管理では

- 反力を確認しながらジャッキダウンができるので、工事の安全性が向上します。
- 反力の偏りによる橋梁損傷を未然に防ぐことができ、設計値と実反力との比較も可能です。

ゴム支承反力の計測例(上部工のジャッキダウン時)



橋梁のモニタリングでは

- 地震発生時に、支承反力に異常が感知されれば緊急点検橋梁の絞り込みが可能となり、点検のための時間短縮、早期の交通解放が期待できます。
- 常時のモニタリングにより、橋梁の異常や損傷の早期発見が可能となり、予防保全や交通の安全性確保につながります。
- 大型車両の通過がモニタリングできるので、荷重実態などの解析手段として利用できます。

使用実績(主なもの)

施工場所	施工時期	施主	施工業者
首都高速目黒線	平成20年	首都高速道路(株)	川田建設(株)
横浜横須賀道路 沼間第2高架橋	平成22年	東日本高速道路(株)	富士技研(株)
東水戸道路 新那珂川大橋	平成25年	東日本高速道路(株)	川田建設(株)

本製品は株式会社川金コアテックとの共同開発品です。

お問い合わせ先：株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング

〒116-0014 荒川区東日暮里 5-7-18 コスモパークビル

TEL：03-3805-8056 FAX：03-3805-7956

担当：技術営業部 技術営業課

製品紹介サイト URL：<http://www.e-nexco-engi.co.jp/technology.html>

※メールによるお問い合わせは、上記 URL の「お問い合わせ」画面よりお願い致します。